



1 エネトピアグループを牽引する児嶋太一社長（43）  
 2 ブランドの理念「エネルギーを生み出す種」「エネルギーの循環」を表すシンボルマーク 3 毎年秋に開催される展示会《エネトピア展》は2022年で61回目を数える 4 最新のガス機器、オール電化機器、住設機器を提案するエネトピアプラザ 5 6 松江市玉湯町、国道9号沿いに立地の《エネトピア松江》と宍道湖を望む2階コミュニティスペース

1918年の創業から地域の暮らしと産業を支え、〝どりガス〟の名で親しまれてきた《鳥取瓦斯株式会社》。創立100年を迎えた2018年を機に、新たな企業ブランド「enetopia（エネトピア）」を発信し、次の100年に向けて走り出している。エネトピアとは、エネルギーとユートピア（理想郷）を組み合わせた造語で、エネルギーの創出と循環を目指し、エネルギーサービスの多様化で地域と人を元気にしたい、という想いが込められている。エネトピアグループは、これまでのガス事業を核に、再生電力を地産地消する電気事業へ進出。また、インターネット高速通信、宅配水、

住宅リフォームなど付加価値サービスを届け、山陰全域を視野に総合エネルギー事業を展開している。ガスの安定供給からエネルギー事業の領域拡張、商圏エリア拡大へと大きく舵を切ったのは、グループ代表の児嶋太一社長だ。児嶋社長は、東日本大震災後の2011年、副社長から32歳で代表取締役に就任。震災を契機に、集中型エネルギーシステムの脆さが顕在化する中、いち早く再生可能エネルギーを活用した「分散型エネルギーシステム」の構築を進めた。2016年の電力小売全面自由化に先駆け、15年には鳥取市と共に《株式会社とっとり市民電力》を設立。翌年、事業用の高圧電力をはじめ、中国・四国地方の都市ガス事業者として初めて、家庭用低圧電気サービス《エネトピアでんき》の提供を開始した。また、鳥取市各所に大規模太陽光発電所、バイ

オマス発電所を設立。創出した再生エネルギーの電力は、とっとり市民電力を通じて、鳥取市の施設や中学校などへ届けられ、電力の地産地消を実現している。奇しくも、電力会社の設立は、鳥取瓦斯の創設者、児嶋幸吉（1897年～1999年）の夢だった。実業家として酒造組合や汽船会社を設立し、鳥取商工会議所初代会頭、市議会議員を務め、鳥取市の発展と産業振興に尽力した児嶋幸吉は、当初、鳥取の工業都市の発展を目指し、市民と一緒に市営電力会社設立に動いたが、計画は頓挫。そのため、当時は全国的に不振だったガス事業にあえて進出することにした。市民の出資・協力で誕生したのが、鳥取瓦斯だったのだ。初代・児嶋幸吉が目指した電力会社設立は、約100年をへて、5代目の児嶋太一社長によって実現している。

2020年7月には、山陰地域におけるシェア拡大とエネトピアブランドの浸透を目指し、島根県松江市玉湯町に営業拠点を構えた。「松江市街と出雲市のどちらにも近く、アクセスが良い場所をと、3年かけて選定しました。ガス、電気など最適なエネルギー提案はもとより、日常を豊かにする新しいサービス・情報を発信し、島根の皆様に、元気の種を蒔いていきたい」と児嶋社長は語る。省エネ、省CO<sub>2</sub>など、エネルギー需要者（お客様）の意識も変わってきている今、時代の変化を敏感に捉え、変革を続けるエネトピアグループ。社員たちは、安心・安全なエネルギー供給を通して地域に貢献するというやりがいを感じながら、新しい取り組みにチャレンジしている。

自然の再生電力を地産地消  
 最適なインフラを提案し  
 山陰を元気に、豊かに

住宅リフォームなど付加価値サービスを届け、山陰全域を視野に総合エネルギー事業を展開している。ガスの安定供給からエネルギー事業の領域拡張、商圏エリア拡大へと大きく舵を切ったのは、グループ代表の児嶋太一社長だ。児嶋社長は、東日本大震災後の2011年、副社長から32歳で代表取締役に就任。震災を契機に、集中型エネルギーシステムの脆さが顕在化する中、いち早く再生可能エネルギーを活用した「分散型エネルギーシステム」の構築を進めた。2016年の電力小売全面自由化に先駆け、15年には鳥取市と共に《株式会社とっとり市民電力》を設立。翌年、事業用の高圧電力をはじめ、中国・四国地方の都市ガス事業者として初めて、家庭用低圧電気サービス《エネトピアでんき》の提供を開始した。また、鳥取市各所に大規模太陽光発電所、バイ

オマス発電所を設立。創出した再生エネルギーの電力は、とっとり市民電力を通じて、鳥取市の施設や中学校などへ届けられ、電力の地産地消を実現している。奇しくも、電力会社の設立は、鳥取瓦斯の創設者、児嶋幸吉（1897年～1999年）の夢だった。実業家として酒造組合や汽船会社を設立し、鳥取商工会議所初代会頭、市議会議員を務め、鳥取市の発展と産業振興に尽力した児嶋幸吉は、当初、鳥取の工業都市の発展を目指し、市民と一緒に市営電力会社設立に動いたが、計画は頓挫。そのため、当時は全国的に不振だったガス事業にあえて進出することにした。市民の出資・協力で誕生したのが、鳥取瓦斯だったのだ。初代・児嶋幸吉が目指した電力会社設立は、約100年をへて、5代目の児嶋太一社長によって実現している。

島根初のサービス発信拠点  
 《エネトピア松江》を開設

2020年7月には、山陰地域におけるシェア拡大とエネトピアブランドの浸透を目指し、島根県松江市玉湯町に営業拠点を構えた。「松江市街と出雲市のどちらにも近く、アクセスが良い場所をと、3年かけて選定しました。ガス、電気など最適なエネルギー提案はもとより、日常を豊かにする新しいサービス・情報を発信し、島根の皆様に、元気の種を蒔いていきたい」と児嶋社長は語る。省エネ、省CO<sub>2</sub>など、エネルギー需要者（お客様）の意識も変わってきている今、時代の変化を敏感に捉え、変革を続けるエネトピアグループ。社員たちは、安心・安全なエネルギー供給を通して地域に貢献するというやりがいを感じながら、新しい取り組みにチャレンジしている。

エネトピアグループ  
 とっとりがす とっとりがすさんぎょう  
 鳥取瓦斯株式会社 / 鳥取瓦斯産業株式会社

27  
 LEADING  
 COMPANY

“人を想う。未来を創る。”  
 ガス事業を核に総合エネルギー企業へ



## エネトピアグループ 鳥取瓦斯株式会社 鳥取瓦斯産業株式会社

業種 ガス事業

事業内容 ガス事業・ガス器具の販売・都市ガス工事・簡易ガス事業・その他の関連事業  
LPガス、高圧ガス販売

創業 大正7(1918)年7月9日  
代表者 代表取締役社長 児嶋 太一  
社員数 128名(男103名 女25名)

〒680-0932  
鳥取県鳥取市五反田町6番地  
TEL/0857-28-8811

https://www.enetopia.jp

- エネトピアプラザ
- エネトピア岩美
- エネトピア倉吉
- エネトピア米子
- エネトピア松江
- エネトピア鳥取エコステーション
- (株)とっとり市民電力
- エネトピアエンジニア(株)
- エネトピアライフサービス(株)
- エネトピアコミュニケーションズ(株)

### 求める人材像 Check!!

- 素直な考え方ができる人物
- コミュニケーション能力の高い人物
- 失敗を恐れず挑戦し、自らの知識・経験値を高められることができる人物

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0857-28-8813

採用直通 E-mail

s.yamaguchi@enetopia.jp

資料請求

インターンシップ

会社見学

公式サイトは  
こちら



### 社員の成長を支える 自己啓発支援制度

入社後は鳥取本社で新人研修(1週間)を受け、日本ガス協会主催の営業研修などで、若手社員のステップアップを応援。また、自己啓発支援制度で、ガス取り扱いに関する資格はもとより、業務に必要な電気・建築・危険物などの資格取得の費用・出張旅費などを会社が負担する。



### 準備期間からワクワク 毎年秋のエネトピア展

鳥取、岩美、倉吉、米子を会場に、秋に開催される展示会《エネトピア展》は、歴史ある一大イベント。宮近さんもスタッフと共に7月から準備に追われる。「たくさんの来場者が訪れ、お客様が求めることを肌で感じるチャンス。その後の提案に生き、刺激的な時間です」



### 緊急時の被害を最小限に 保安点検は正確・入念に

橋本さんは、お客様の住宅一軒一軒をまわり、ガスの供給容器(ボンベ)から配管調整器、自動通報通信システムを備えたメーターなどの供給設備を点検・確認・保守する仕事。「点検作業は自分のペースで行え、時間を調節できるのでじっくり取り組むことができます」



### 都市ガス供給を支える 毎日の設備点検や管理

都市ガス製造は、タンクローリーで本社工場に運ばれる原料(LNG)を、貯蔵施設からホースで気化器に送り、液体から気体へ。そして、ガスに臭いを付け、パイプライン(ガス導管)を通し、供給先へ届けられる。木原さんが担う製造設備の保守・管理は、円滑な供給に欠かせない業務だ。



### 家庭用LPガスを主体に快適な生活インフラの提案から工事まで

エネトピア松江を拠点に、一般家庭への営業とインフラ設置工事を担当する金坂路希さん。出雲、大東、松江、安来エリアの個人宅や共同住宅を活動範囲に、精力的に業務に取り組んでいる。「ガス、電気、通信、水などの生活インフラは、毎日の快適な生活に欠かせないので、小さな事でもすぐ対応するよう心がけています。」

お客様に感謝されるとうれしいし、やりがいを感じますね」と話す。松江の高校卒業後に4年勤めた地元ガス会社から転職し、新しい業務にチャレンジする毎日だ。「入社2年目で初めて、新築住宅のLPガス管・埋設工事で施工管理を担当しました。今後はガスに関わらず、電気・水道設備工事に関わる資格取得を目指したい」



鳥取瓦斯産業 株式会社  
リビング本部 エリア営業グループ  
エネトピア松江  
金坂 路希さん(2021年入社)

### 視野を広げて経験を重ね、お客様のニーズに最適な提案で応えたい

宮近由さんは倉吉市出身。県外の大学に進むもUターン就職を希望し、鳥取瓦斯に入社を決めた。所属のリビング営業チームでは、JR鳥取駅周辺と旧市内エリアを担当し、一般家庭用はもとより、ホテルなど業務用ガスコンロ・給湯器・暖房機などの提案から設備管理、交換までを行っている。「お客様と距離が近くなれるのが、この

仕事の魅力です。お客様の要望はけっして断らず、一緒に最善策を見つけられるよう力を尽くすようにしています」と話す。ガス主任技術者資格の取得を視野に、住宅一軒のインフラ全てをエネトピアでお願いされるようになりたいと願っている。



鳥取瓦斯 株式会社  
リビング本部 リビング営業グループ  
リビング営業チーム  
宮近 由さん(2017年入社)

### 安全・安心なガス供給の要・保安体制の一翼を担う

エネトピアではお客様の安全を第一に、ガス漏れなどの万一の事態に備え、24時間365日の通報受付・出勤体制を整備。社員たちは、営業・技術職に関わらず、月3回の当番制で拠点に待機し、不測の事態に備えている。また、お客様の安全なガス使用を守る保安機関として認定を受けており、ガス供給設備の法定点検・保守業務

を実施している。LPガス保安サービスチーム所属の橋本友明さんは、大学でエネルギーのゼミをとっていたことからエネトピアグループに入社。「業務に宿直があるのは意外でしたが、その分インフラを守る仕事の重みを感じました」と話す。今は、LPガス保安実務に必要な「丙種化学液化石油」資格取得に向け勉強中だ。



鳥取瓦斯産業 株式会社  
小売供給保安グループ  
LPガス保安サービス  
橋本 友明さん(2022年入社)

### 地域のライフラインを預かる仕事に責任と誇りをもって取り組む

低炭素社会に向け、石炭や石油などの化石燃料の需要減が見込まれる中、LNG(液化天然ガス)を原料とした都市ガスは、今後も主要エネルギーとして大きな役割が期待されている。

木原悠太さんは、都市ガス製造チームで製造設備の保守・管理を担当。「出身地・鳥取の歴史ある会社で、人の暮らしを根拠から支えたい」

と、エネトピアグループ入社への想いを話してくれた。ライフラインを預かる使命のもと、ガス全般を学ぶ社内研修、防災訓練など、日々学べる環境がうれしい。一つずつ課題をクリアした時、自分の成長とやりがいを感じるという。「ガスの知識はまだですが、どこか部署に配属されても良いように、資格取得と勉強に励みます」



鳥取瓦斯 株式会社  
小売供給保安グループ  
製造チーム  
木原 悠太さん(2022年入社)